

中期経営計画

(2022年度～2024年度)

Change and Innovation RIETEC 2024【RX2024】

「3つのS (Safety Smart Sustainability) の実現に向けて」

前 中期経営計画(Challenging RIETEC 2021)



Challenging RIETEC 2021 の振り返り

【 成 果 】

【 課 題 】

【 強化への取組み 】

<p>NR 安全の樹</p>	<p>PJ工事、災害復旧工事の無事故完遂 安全優先の好事例が増加</p>	<p>ルール違反、死亡労災は完封できず</p> <p>さらなる安全風土構築へ</p>	<p>安全マネジメントの深化 計画から実施に至るリスク把握 作業現場における安全を 最優先にする行動の教育と取組み デジタル技術の活用・ お客様ニーズの取り込み</p>	<p>今後も強化して取り組む</p>
<p>NR ガバナンス</p>	<p>東証一部上場を達成 基幹システム更新を実施</p>	<p>プライム市場に移行 RISEの2期開発 ※1</p> <p>プライム市場に相応しいがバナンス強化 RISEの本格活用</p>	<p>ハラスメントの根絶 RISE活用による収益力向上</p>	
<p>人間企業 NR</p>	<p>長時間労働の削減・休日取得の増加 研修制度の充実(NR-CDP) ※2</p>	<p>更なる働き方改革の推進 社員定着率やダイバーシティ } まだこれから</p> <p>新しい働き方に相応しい 人事・職場・制度</p>	<p>魅力ある建設業へ 多様性の確保 未来へつなぐ人材育成</p>	

※1 RISE=基幹システムの愛称(RIetec System Empowerment)

※2 NR-CDP=NRグループの教育研修要綱(NRキャリアディベロップメントプラン)

一方で大きく変化した経営環境

リスク

人の移動減少



建設業の高齢化



デジタル化

生産性向上

新たな
ニーズ

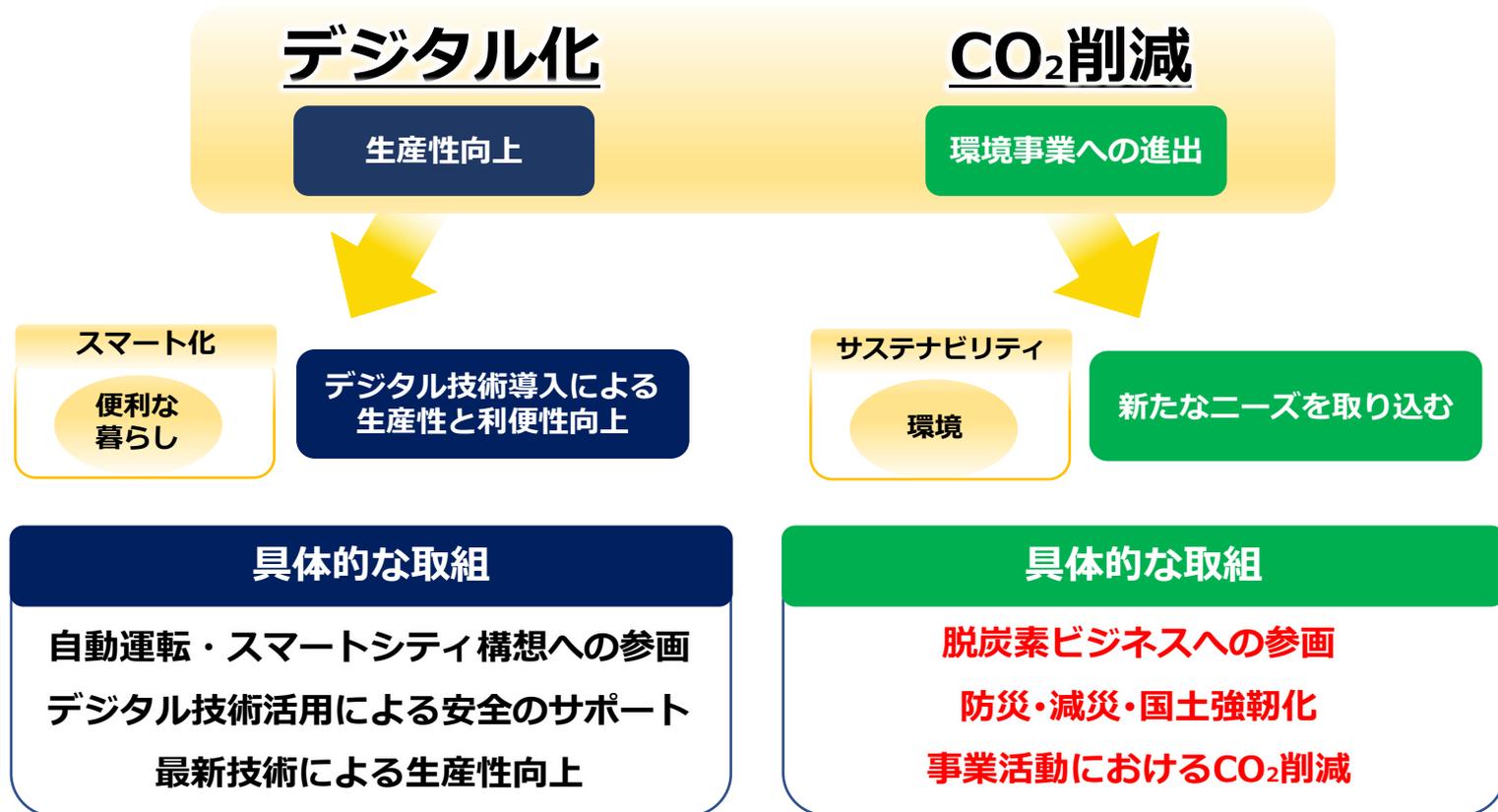
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



CO₂削減

環境事業への進出

魅力ある建設業へ・新たな社会ニーズに貢献



中期経営計画の方向性

Safety

- ①NRの根幹である3本柱は維持そして**強化**(**変えてはいけない信頼**)
(NR安全の樹・人間企業NR・NRガバナンス)

Smart

- ②デジタル技術の導入
生産性向上で既存事業を**深化**(**魅力ある建設業へ**)
利便性向上で社会を便利に(**未来の暮らしづくり**)

Sustainability

- ③新たな社会ニーズを取り込む = 新規事業へ**進化**(**ニーズをビジネスへ**)

新中期経営計画のイメージ (Safety Smart Sustainability=3つのS)



『Smart』 デジタル技術の導入

生産性向上・生産プロセス改革

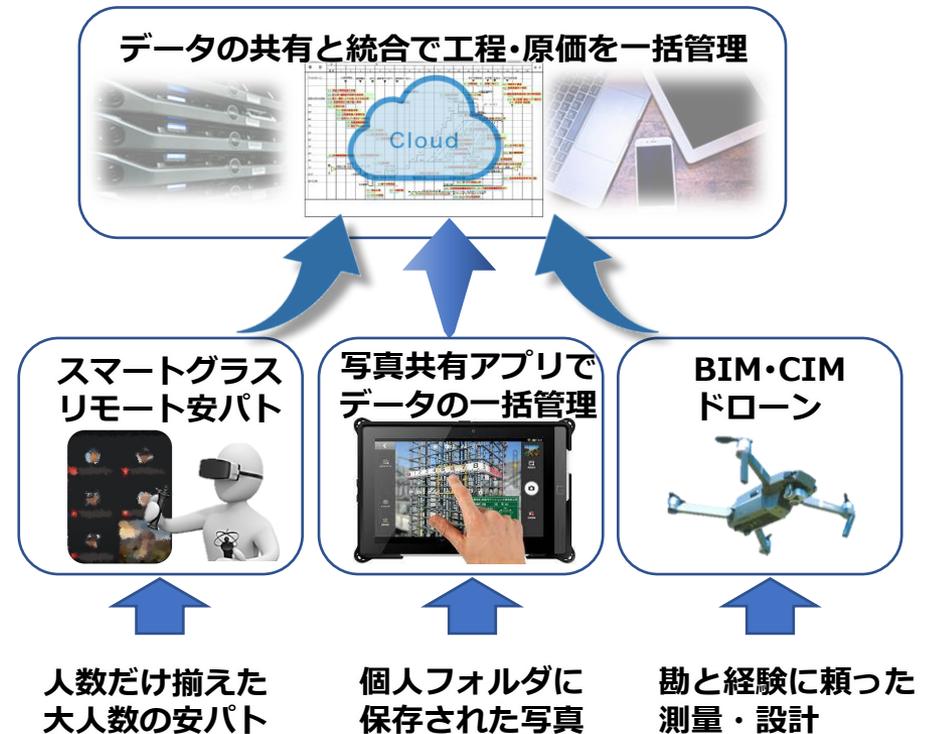
我々の仕事のDX化へ

デジタル技術を用いた効率向上

- ・ 事務所と現場でデータを共有し
時間・モノ・場所の壁を無くす
- ・ 生産性向上を実現する

機械化、自動化による要員削減

- ・ 単純作業は機械・ロボットに
行わせ作業を効率化する



主要顧客が進める新規事業(海外案件を含む)への対応

お客様の未来の暮らしづくりに向けた
次世代サービス事業・海外事業に積極的に参画していく



お客様のDXに対応

無線基地局増設への対応

・通信ネットワーク、ローカル5G

自動運転・無人運転化運転の インフラ整備への対応

その他

海外鉄道事業への支援

TCFD提言に基づく気候変動に関するリスクと機会の分析

分類	リスク/機会の項目		影響度	対策
移行	炭素税導入、CO ₂ 排出規制によるコスト増加	リスク	小	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 無線技術の活用、低炭素建材の活用、建設廃棄物のリサイクル率向上 ▶ 施工における省エネ車・機械の導入、オフィスにおけるCO₂排出量削減
	再生可能エネルギー関連需要増加	機会		
物理的変化	夏季の気温上昇	リスク	中	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ICTやロボット等の省力化技術を活用した安全性・生産性向上 ▶ 各種熱中症対策や働き方改革による労働環境の改善
	自然災害の甚大化・頻発化	リスク		
	防災・減災、国土強靱化	機会	大	<ul style="list-style-type: none"> ▶ インフラ強靱化にむけた施工拡大 ▶ 防災を意識したスマートシティ構想の拡大 ▶ インフラ運営の民間開放拡大

『Sustainability』 新たな社会ニーズを取り込む

再エネ事業・省エネ事業に進出する

- ・再生可能エネルギー発電所建設工事
- ・再エネ発電所の送電線アクセス工事
- ・サステナブル建築物等先導事業
- ・鉄道エコステーション関連工事



幅広い環境問題に取り組む

- ・防災減災設備工事・設備強靱化工事
- ・IoTセンサー、分析コンピュータ設置工事
- ・インフラ早期回復に向けて、NRのBCPブラッシュアップ



工事施工過程における取組み

- ・環境に配慮した建設資材
- ・低燃費な建設機械
- ・HV車・EV車の導入率向上
- ・建設廃棄物の分別



事業拠点での環境活動

- ・3R活動の推進
- ・自社建物のZEB化
- ・高効率照明・空調の導入
- ・植樹・緑化運動

